

平成27年度関東倶楽部対抗埼玉第2会場予選競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 22倶楽部 ・ 176名)

期日：5月25日(月)

場所：川越カントリークラブ 中・西コース

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番(中コース)よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	竹田 賢司	寄居	工藤 利明	埼玉国際	小林 賢司	飯能グリーン	前田 正雄	岡部チサン
2	7:39	深山 知久	さいたま梨花	柿木 良夫	鳩山	浅川 辰彦	武蔵	神 羊二	ノーザン錦ヶ原
3	7:48	増田 通夫	玉川	小島 亘	川越	高橋 俊行	彩の森	岩瀬 賢治	オリムピック・レイクつばらだ
4	7:57	清水 重幸	武蔵松山	田島 幸久	秩父国際	瀧田 敏明	高麗川	大賀 七郎	大宮国際
5	8:06	砂山 武則	越生	関橋 光一	廣済堂埼玉	宇佐見 則男	高根	秋保 一孝	東松山
6	8:15	鈴木 幹夫	飯能くすの樹	本藤 利一	日高	小野 太佳司	寄居	中村 哲也	飯能グリーン
7	8:24	畔上 隆治	さいたま梨花	内野 秀治	武蔵	村嶋 隆義	玉川	伊藤 明	彩の森
8	8:33	本藤 功	高麗川	門田 廣	武蔵松山	樋口 新吾	越生	飯田 雅之	高根
9	8:42	根岸 淳	飯能くすの樹	飯塚 忠夫	埼玉国際	関根 幸一	岡部チサン	清水 重夫	鳩山
10	8:51	中嶋 寿一郎	ノーザン錦ヶ原	細沼 和秋	川越	金田 成雄	オリムピック・レイクつばらだ	中山 茂	秩父国際
11	9:00	高橋 貞雄	大宮国際	金丸 保	廣済堂埼玉	谷 猛夫	東松山	澤村 治道	日高
12	9:09	比留間 基好	寄居	小沼 金一	岡部チサン	森 一郎	武蔵	福澤 勇二	川越
13	9:18	稲川 俊之	武蔵松山	南雲 芳憲	大宮国際	白石 博	高根	新井 義弘	日高
14	9:27	伊禮 進	埼玉国際	原瀬 博利	さいたま梨花	小山 睦生	ノーザン錦ヶ原	松本 雅由	彩の森
15	9:36	加藤 芳男	秩父国際	金子 義一	越生	高橋 徹	東松山	竹島 長康	飯能グリーン
16	9:45	梁瀬 正晴	鳩山	野崎 良輔	玉川	三上 和洋	オリムピック・レイクつばらだ	大賀 喜夫	高麗川
17	9:54	広井 智一	廣済堂埼玉	駿馬 保雄	飯能くすの樹	兼松 忠	寄居	山崎 勇	さいたま梨花
18	10:03	大森 功	玉川	小林 憲司	武蔵松山	飯村 弘	越生	鈴木 賢司	飯能くすの樹
19	10:12	佐藤 隆盛	埼玉国際	大野 政利	鳩山	井山 光一	川越	河内谷 清太郎	秩父国際
20	10:21	藤野 公訓	廣済堂埼玉	小山田 壮権	日高	坂本 舟二	飯能グリーン	岡田 義和	武蔵
21	10:30	川村 信康	彩の森	鈴木 敏蔵	高麗川	角石 千春	高根	吉永 昇	岡部チサン
22	10:39	渡辺 基樹	ノーザン錦ヶ原	中野 弘徳	オリムピック・レイクつばらだ	清水 馨	大宮国際	坂本 章二	東松山

10番(西コース)よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
23	7:30	川井 光洋	寄居	向山 和徳	鳩山	梅沢 久武	彩の森	杉山 誠一	大宮国際
24	7:39	小島 好夫	飯能くすの樹	宮本 匡泰	埼玉国際	大野 達朗	武蔵	谷口 弘孝	オリムピック・レイクつばらだ
25	7:48	加藤 光一	越生	小山 明宏	日高	田中 健司	飯能グリーン	砂塚 亘	ノーザン錦ヶ原
26	7:57	長野 修	武蔵松山	青山 透	廣済堂埼玉	高橋 一誠	岡部チサン	仙庭 悟	玉川
27	8:06	野口 雄司	秩父国際	渡辺 顕展	高根	鈴木 和浩	さいたま梨花	土門 英司	川越
28	8:15	友田 敦	高麗川	吉田 文雄	東松山	田中 良博	寄居	小林 勝美	武蔵
29	8:24	上中 啓史	武蔵松山	森 信幸	高根	八田 雅弘	埼玉国際	細川 健	ノーザン錦ヶ原
30	8:33	小野 拓也	東松山	古田 雅二	秩父国際	中山 久喜	飯能グリーン	刀禰 俊明	玉川
31	8:42	川連 秀彦	高麗川	中嶋 満	飯能くすの樹	金井 篤司	岡部チサン	竹内 正己	川越
32	8:51	杉山 大作	大宮国際	水野 潤一	日高	落合 滋	さいたま梨花	照山 直樹	彩の森
33	9:00	辻野 寛次	越生	田中 俊行	鳩山	姫野 正徳	オリムピック・レイクつばらだ	木本 裕二	廣済堂埼玉
34	9:09	大日 健	寄居	林 勝昭	ノーザン錦ヶ原	牧野 龍一郎	高麗川	津村 竜浩	日高
35	9:18	佐藤 竜司	埼玉国際	松本 秀樹	玉川	長川 順一	大宮国際	山崎 克巳	飯能グリーン
36	9:27	佐藤 礼弥	川越	角田 智之	越生	関 茂生	岡部チサン	恩田 和美	彩の森
37	9:36	吉岡 進	廣済堂埼玉	古池 陽太	さいたま梨花	高田 英樹	オリムピック・レイクつばらだ	山崎 広宣	高根
38	9:45	高野 秀治	鳩山	桜井 真澄	武蔵松山	大久保 光彦	東松山	久田 謙	武蔵
39	9:54	伊坂 宣二	秩父国際	金澤 浩	飯能くすの樹	荒井 建次	寄居	森川 伸一	玉川
40	10:03	川口 智宏	埼玉国際	村上 啓二	越生	林 一夫	川越	新井 利幸	廣済堂埼玉
41	10:12	清水 健司	飯能グリーン	常木 祥一	彩の森	塚田 正則	高根	新村 義幸	岡部チサン
42	10:21	小林 昌信	オリムピック・レイクつばらだ	東 英樹	東松山	山田 正明	さいたま梨花	中村 彰夫	武蔵松山
43	10:30	小俣 文彦	飯能くすの樹	森山 明英	鳩山	田島 俊信	秩父国際	石井 稔晃	日高
44	10:39	池田 陽介	武蔵	森 重信	高麗川	中川 博元	ノーザン錦ヶ原	高橋 恭史	大宮国際

競技委員長 豊泉幸夫

平成 27 年度 関東倶楽部対抗埼玉第 2 会場予選競技

開 催 日 : 5 月 25 日(月)

開催コース: 川越カントリークラブ 中・西コース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)
ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
3. 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。
パッティンググリーンの前後のペイントマークを含み、スルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にある
ヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。
4. 動かさない障害物(規則 24-2)
(a) 排水溝
(b) 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
5. コースと不可分の部分
(a) 樹木やその他の恒久的な物件に巻きつけたり、密着させてあるもの。
(b) ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。
6. ホールとホールの間の白杭
5 番ホールと 6 番ホール、10 番ホールと 18 番、10 番と東コース 1 番ホールの間の白杭を結ぶ線を越えていった球は、球が白杭を結ぶ線の向こう側のコース上に止まっている場合も、アウトオブバウンズの球とする。

距離表

HoleNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
AクラスYards	482	399	398	144	269	508	430	151	385	3166
BクラスYards	498	426	425	160	269	508	454	151	418	3309
Par	5	4	4	3	4	5	4	3	4	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
515	363	379	360	540	184	407	142	306	3196	6362
526	363	409	372	561	184	416	168	306	3305	6614
5	4	4	4	5	3	4	3	4	36	72

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(C)1a』を適用する(ゴルフ規則 174 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(C)1b』を適用する(ゴルフ規則 175 ページ参照)。

5. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b,c,d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間にいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。

険悪な気象状況による即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

6. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(C)5b』(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

7. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(C)2』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

8. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. パッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。
3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 8 コイン(200 球)を限度とする。

競技委員長 豊泉幸夫